

コンゴ(民)月例報告  
政治関連  
2016年2月

主な出来事

- AU-UN-EU-OIF は、政治対話への参加と、コジョー特使への協力を求める共同コミュニケを発表
- 元副大統領で2008年から国際刑事裁判所で公判が行われていたジャン＝ピエール・ベンバ被疑者の判決は3月21日午後2時(現地時刻)に予定
- 16日、野党がゼネラル・ストライキ(ville morte)を呼びかけ、同日午前中の交通量は通常と比べ大幅な減少
- CENI は州知事・副州知事選挙日程を3月26日と発表
- 北キブ州でナンデ族とツツ族の武力紛争が激化
- 潘国連事務総長が東部の IDP キャンプを視察。パンジー病院のムクウェゲ医師とも会談
- 憲法発布10周年に関する共同コミュニケを発表(白、加、米、英)
- 米が表現の自由尊重を訴えるコミュニケを発表

1. 内政

(1) 政治対話関連

ア UDPS のチセケディ党首がコジョー前トーゴ首相と会談

・4日、AU によって政治対話への調停者候補に指名されたコジョー前トーゴ首相と、UDPS のチセケディ党首がブリュッセルで会談を行った。会談の内容は非公開。

イ AU-UN-EU-OIF が共同コミュニケ

・16日、アフリカ連合、国連、欧州連合、仏語圏(フランコフォニー)国際機関(OIF)は、政治アクター間の合意を探るための政治対話の重要性を強く訴え、また、コジョー特使への全面的な協力を求める共同コミュニケを発表した。

ウ 野党 G7 が AU-UN-EU-OIF の共同コミュニケに対する立場を公表

・20日、野党 G7 は、16日にアフリカ連合、国連、欧州連合、仏語圏(フランコフォニー)国際機関(OIF)が発表した政治対話に関する共同コミュニケに関し、憲法に規定された期限内に信頼性のある選挙を実施するには、大統領の呼びかけによる対話よりはむしろ、政治アクター間の直接交渉という考えに同意するとの立場を公表した。

(2) 野党関連

ア ジャン＝ピエール・ベンバ被疑者の判決、動向

・2日、国際刑事裁判所(英:ICC/仏:CPI)は、元副大統領で2008年から同裁判所で公判が行われていたジャン＝ピエール・ベンバ被疑者の判決を、3月21日午後2時(現地時刻)に行うと発表した。

・12日、野党連合「市民戦線2016」のアンズルニ調整役(Floribert Anzuluni)がベンバ被疑者を訪れた際、同被疑者は、同連合への支持を繰り返し述べたと、アンズルニ調整役が伝えた。

イ 野党連合によるゼネラル・ストライキ(ville morte)の呼びかけ

・16日、野党連合ダイナミック、G7 等は、カビラ大統領の政権居残りを警告する目的で、ゼネスト決行を呼びかけた。当日朝のキンシャサ市内の交通量は非常少なく、午後になり若干増えたものの通常の半分程度。また、RFI のラジオ電波が早朝から遮断された。

#### **エ 野党 E Ci De のファユル党首逮捕**

・14日、野党 E Ci De のファユル党首は、同党本部に突然現れたコンゴ(民)国軍(FARDC)と国家情報局(ANR)によって連行され、同日遅くに釈放された。

#### **オ 潘国連事務総長と与野党代表の面会**

・24日、潘国連事務総長は与野党議員(注:与党から PPRD、野党から UDPS、G7 の7政党すべて、野党連合ダイナミックから6政党)、市民社会代表(Linelit)らと面会し、政治対話の重視、人権尊重などを求めた。

### **(3)独立国家選挙委員会(CENI)関連**

#### **ア 政府が CENI に22百万ドルを支出**

・2日、2016年に支出が予定されている300万ドルの選挙予算の一部として、22百万ドルが CENI 宛てに支出された。

#### **イ 州知事・副州知事選挙日程**

・10日、CENI は州知事・副州知事選挙を3月26日に行うと発表、2015年2月の州分割化により旧6州から分割された21州に対し、州議会議員による間接投票で行われる。

#### **ウ 州知事・副州知事選挙の立候補状況**

・21日、CENI は州知事・副州知事選挙の立候補受付状況についてプレス・コミュニケを発出、20日の受付終了を受けた立候補状況は、選挙実施21州に対し、135件の立候補。立候補者の内訳は、政党からの立候補37件、政治連合からの立候補18件、個人からの立候補80件と発表した。選挙法に基づき、2月21日から25日の5日間を立候補の取り消し、追加、入れ替えの期間とし、CENI の総会を経て、2月28日に各州の暫定的立候補者名簿を発表する。

#### **エ 州知事・副州知事立候補者の一部不受理**

・29日、独立国家選挙委員会(CENI)は、州知事・副州知事選挙の立候補者受付名簿に関し21件の不受理を決定したと発表した。大統領多数派(MP)が選出した候補者に対し、同じ MP から立候補者の立候補があったもので、MP からの要請により、競合した立候補者を不受理と決定した由。

## **2. 外交**

### **(1)カビラ大統領のコンゴ(共)訪問**

・27日、カビラ大統領はコンゴ(共)を訪れサス・ンゲソ大統領と非公開の会談を行った。コンゴ(民)大統領府発表コミュニケによると、カビラ大統領のコンゴ(共)訪問はサス・ンゲソ大統領の招待に応じたもので、両国の友好関係と協力関係強化が目的。

## **3. 東部及び大湖地域情勢**

### **(1)MONUSCO 軍司令官の着任**

・1日、ムグウェビ新 MONUSCO 軍司令官(フルネーム:Derrick Mbuyiselo Mgwabi)が外交団に紹介された。同司令官は MONUSCO 介入旅団に兵員を供給している南アの国籍で、直前の経歴は南ア軍の合同作戦司令官。

### **(2)メンデ・メディア大臣兼政府報道官がラドス一国連平和維持活動(PKO)担当事務次長を非難**

・2日、メンデ・メディア大臣兼政府報道官は当地の国営テレビ・ラジオ局(RTNC)を通じ、MONUSCO と FARDC の軍事協力再開は、コンゴ(民)政府側の希望であるとするラドスー国連平和維持活動(PKO)担当事務次長のインタビュー発言内容を強く非難した。メンデ報道官によると、同合意は MONUSCO のシディク SRSR からの度重なる切なる要請によるもの。

### **(3)北キブ州での民族紛争が激化**

・7日、北キブ州ムケベルワ(Mukeberwa)村(ルベロ地区とワリカレ地区の間)で、ナンデ族(注:北キブ州北部の最大民族)とフツ族との武力紛争により、15~30名の死亡が確認された。ナンデ族のマイマイ(注:元来は地元の自警団的性格を持った民兵組織)が FDLR に加担する住民を襲撃した模様。これに先立ち、2月初旬にはルベロ地区とワリカレ地区で発生した武力紛争で21名死亡、40名負傷、70軒が放火されている。

### **(4)潘基文(パン・ギムン)国連事務総長の東部訪問**

・23日、潘国連事務総長はブジュンブラ市からコンゴ(民)入りし、午後にはパルク北キブ州知事と共に、ゴマ市の北西約80キロの地点にあるキチャンガ(Kitchanga)のムンゴテ(Mungote)国内避難民キャンプを訪れた。その後、同事務総長はゴマ市に戻り、パンジー病院(南キブ州)のムクウェゲ医師と会談を行った。

### **(5)大湖地域民間セクター投資会議がキンシャサで開催**

・24-25日、キンシャサにおいて大湖地域民間セクター投資会議が開催され、開会式にはカビラ大統領、潘国連事務総長を始め、PSC 枠組みの署名11か国の代表らが登壇し、会場には外交団、政府関係者等、約400~500名が参集した。

### **(6)北キブ州ベニ市近郊で村民13名が殺害される**

・29日、北キブ州ベニ市近郊の村で、13名の村民が ADF に関連する武装した兵士によって殺害、4名が行方不明になっている。同市付近ではこの1年で、百名以上の住民が殺害されている。

## **4. その他**

### **(1)メンデ・メディア大臣兼政府報道官が AFP の報道を批判**

・8日、メンデ・メディア大臣兼政府報道官はコミュニケを発表し、7日に行われたサッカー「アフリカ・ネイションズ・チャンピオンシップ(CHAN)2016」でのコンゴ(民)チームの優勝を受けた市民の対応に関する AFP の報道姿勢を一方向的と非難した。

### **(2)憲法発布10周年に関する白、加、米、英の共同コミュニケ**

・18日、当地の白、加、米、英各国大使は連名で、コンゴ(民)の憲法発布10周年に向けた共同コミュニケを発表し、「真の民主主義、政治、経済に基づいて建設された法治主義、力強く繁栄した国家」のために、憲法に表現された希望を共有すると伝えた。

### **(3)米が表現の自由尊重を訴えるプレス・コミュニケを発表**

・18日、米務省のジョン・カービー(John Kirby)報道官が、「コンゴ(民)における表現の自由に対する権利の行使」と題するプレス・コミュニケを発表、2月16日のゼネストに関連して留置された者を含む、平和的な活動家及び野党指導者に対する嫌がらせと留置・監禁を懸念、国際的人権を遵守し、留置・監禁された人々の即時釈放を求めた。

### **(4)ゼネストに関連して逮捕された活動家に2年の懲役判決**

・24日、北キブ州ゴマ市の大審裁判所は、16日のゼネストに関連して逮捕された「変化への闘争(Lutte pour le changement; LUCHA)」の青年活動家6名に対し、懲役2年(減刑なし)を言い渡した(司法官は懲役10年を請求していた)。罪状は暴動煽動。(その後3月4日に裁判所は6か月へ

の減刑を求刑した。)

**(5) ルブンバシで恩赦により109人が釈放**

・24日、ルブンバシ控訴院は、同市カサパ刑務所に軽犯罪で収容されていた109(受刑者76人、留置人33人)を、1月28日付司法大臣命令に基づく大統領恩赦(grace)により釈放した。ルブンバシ控訴院検事長によると、今回の釈放は、コンゴ(民)における人権尊重の現れの由。